

地域振興会議資料	
平成29年8月31日	
担 当	青谷町分室
電 話	85-0014

分室管理施設の指定管理者制度導入について

合併後も直営となっている体育施設等について、民間の活力を取り入れ、平成30年度からの指定管理者制度導入を検討しています。

【指定管理者制度導入を検討している施設】

- ・青谷町グラウンド（野球場）
- ・青谷町グラウンドテニスコート
- ・青谷町農村広場
- ・青谷町体育館
- ・青谷町農林漁業者トレーニングセンター

【導入に向けたスケジュール】

月	内容
9月	条例・債務負担行為の9月議会上程 選考委員会にて募集要項・審査基準等の審議（必要に応じて現地確認）
10月	指定管理者募集（9月下旬～10月上旬）
11月	選考委員会で指定管理者候補者選定
12月	指定議案の12月議会上程
1月	指定通知・指定管理者の告示
3月	基本協定締結 年度協定締結
4月	指定管理者による運用開始

史跡青谷上寺地遺跡の整備活用について



鳥取県埋蔵文化財センター
青谷上寺地遺跡調査整備担当
瀬田 竜彦

南上空から見た青谷平野と遺跡



本日の話題

- 青谷上寺地遺跡って
・・・とにかくすごい遺跡です
- 史跡整備について
・・・どんな整備になる？
- 史跡の活用について
・・・活用のイメージは？



断面資料一瞥



遺跡の特徴を活かし、地域の魅力を高める 未来志向の史跡の整備と活用を目指して！

平成25年度	基本計画の作成と整備計画（平成25年度～平成27年度）
平成26年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理
平成27年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理
平成28年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理
平成29年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理
平成30年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理
平成31年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理
令和元年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理
令和2年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理
令和3年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理
令和4年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理
令和5年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理
令和6年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理
令和7年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理
令和8年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理
令和9年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理
令和10年度	整備計画・調査、発掘、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理、発掘後処理

1 青谷上寺地遺跡って・・・？



遺跡の範囲・史跡指定の範囲・エリア区分



木製容器製作の道具



青谷上寺地遺跡出土の木製品 ・・・約13,000点



2 史跡整備について

年度	内容	実施状況	備考
平成25	基本計画の作成	完了	
平成26	調査・発掘	完了	
平成27	調査・発掘	完了	
平成28	調査・発掘	完了	
平成29	調査・発掘	完了	
平成30	調査・発掘	完了	
平成31	調査・発掘	完了	
令和元	調査・発掘	完了	
令和2	調査・発掘	完了	
令和3	調査・発掘	完了	
令和4	調査・発掘	完了	
令和5	調査・発掘	完了	
令和6	調査・発掘	完了	
令和7	調査・発掘	完了	
令和8	調査・発掘	完了	
令和9	調査・発掘	完了	
令和10	調査・発掘	完了	



■整備のスタイル(案)
生活・技術体験型整備 ↔ 景観体験型整備(むきぼんだ史跡公園)
・建物など、遺構の復元は最小限にとどめ、保存状態に優れた出土品を最大限に活かした青谷上寺地遺跡ならではの整備を目指す
更新(持続)型の整備・活用
・現在の生活(町や社会)と乖離した場所をつくるのではなく、地域の方々と一緒に史跡を活用しながら、整備を進める
活用を前提とした整備を進めます！



■整備の核となる施設や表示(案)

展示施設

青谷上寺地遺跡の大きな特徴である優れた出土品を展示、学習、活用

ガイダンス施設

生活・技術体験などの活動の舞台、地域の人々の交流の場

遺構展示施設

実物又はレプリカを用いた遺構の展示、学習の場

遺構表示

中心域および周辺を対象に弥生時代や古代の遺構を表示し、顕在化
屋外体験施設(低湿地環境、水路、水田など)
楽しく遊べる水場、農業や自然を体験、学習する場
便益施設 駐車場、便所、水飲み場、足洗い場など

展示施設

特別史跡 三内丸山遺跡(青森県青森市)



むきばんだ史跡公園 弥生の館むきばんだ



むきばんだ史跡公園 弥生の館むきばんだ

史跡 西沼田遺跡(山形県山形市)



復元水田を活かした体験学習

3 史跡の活用について

活用の基本方針(案)

- ①とっとり弥生の王国を建国する
- ②弥生文化を体感する
- ③身近な歴史学習の教材として活用する
- ④体験・学習活動のフィールドとして活用する
- ⑤市民と協働・連携して地域振興を推進する
- ⑥国内外との交流・連携に努める
- ⑦歴史遺産観光の資源として活用する

▶ Funder Side

▶ 01/2017 4/21

活用の基本方針(案)

①とっとり弥生の王国を建国する

杵木晩田遺跡と共に「とっとり弥生の王国」の建国を宣言し、二つの史跡が一体となって鳥取県の弥生文化の魅力を高め、表現する事業を企画、展開しながら、スケールの大きな情報創造に取り組む。

▶ Funder Side

▶ 01/2017 4/21

活用の基本方針(案)

②弥生文化を体感する

青谷上寺地遺跡に関する発掘調査、出土品の調査研究、復元実験などの調査研究によって明らかになった弥生時代における青谷上寺地遺跡の特性を活かして、弥生文化を体感するプログラムや学習活動を展開する。

▶ Funder Side

▶ 01/2017 4/21

活用の基本方針(案)

③身近な歴史学習の教材として活用する

青谷上寺地遺跡の核となる弥生時代に限らず、縄文時代、古墳時代、そして山陰道や条里が確認された古代、さらには中世以降、現代に至る地域の成り立ちに関する様々な情報を身近な歴史学習教材として有効活用する。

▶ Funder Side

▶ 01/2017 4/21

活用の基本方針(案)

④体験・学習活動のフィールドとして活用する

教育関係機関、NPO法人などと密接な連携を図り、史跡を様々な学習や体験活動を実践するフィールドとする。

▶ Funder Side

▶ 01/2017 4/21

活用の基本方針(案)

⑤市民と協働・連携して地域振興を推進する

市民が参画する史跡の活用を目指し、地域の伝統・生活文化、ものづくりや芸術文化、人の交流を通じて、新たな文化の創造と地域振興を推進する。

▶ Funder Side

▶ 01/2017 4/21

活用の基本方針(案)

⑥国内外との交流・連携に努める

県外及び国外の史跡や博物館などとの交流や連携を通じて、情報創造を図りながら青谷上寺地遺跡の魅力を広く発信していく。

▶ Funder Side

▶ 01/2017 4/21

活用の基本方針(案)

⑦歴史遺産観光の資源として活用する

観光部局等と連携して、観光資源としての魅力向上に努め、歴史遺産観光の拠点としても活用する。

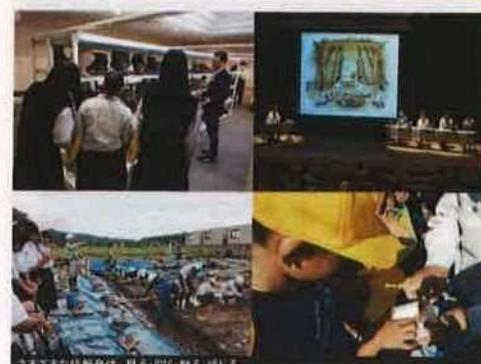
▶ Funder Side

▶ 01/2017 4/21



発掘調査、研究

活用、情報発信の基礎



さまざまな情報発信 見る・聞く・触る・感じる



桜花小学校 6年生 5月 遺跡見学(歴史学習)
遺跡に学ぶ

高碑を築いて
地元保良所 5月 戦国遺跡レクリエーション
大塚山古墳(鳥取県)



家族で楽しむ



栗木晩田遺跡ボランティアガイドの会

遺跡を知る



自然とのコラボレーション

歴史体験

自然の森を育む



弥生の技術にせまる

○弥生のものづくり体験 ①土器復元体験 ②舟形土器復元体験 ③土器入れ
④縄文土器の要素を取り入れた、リアルな創作(もてり)体験。
⑤ 縄文土器に「お菓子の型を写す」のメニュー開発



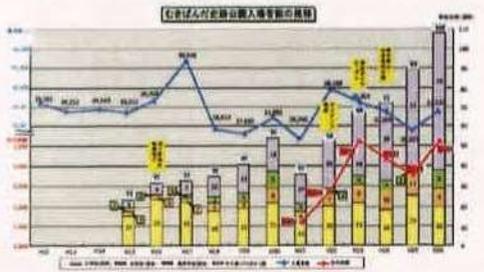
弥生の技術を楽しむ



遺跡に集う



GWの日 おきばんだまつり



青谷上寺地遺跡の本格的な活用もスタート！ 全国に情報発信

平成28年度 青谷地域振興会議
委員提案管理表

開催日等	平成28年5月27日 第2回青谷地域振興会議
提案委員	瀧 洋子
提案内容	グループホーム（共同生活援助事業）の設立について
具体的な内容	<p>青谷地域でも障がいのある人のグループホームの設置要望が多くなっている。他市の施設に体験入居している方もある。設置に向けて空き家を改修してはどうかと考えているが、土地の問題があり進んでいない。</p> <p>今後は地域の理解が必要となる。設置できれば、青谷地域は福祉の充実したまちになっていくと思っている。身近に施設があると家族も安心して暮らせる。地域で応援していくことが必要だと考えている。</p>
意見	<p>・働く場の確保は進んでいくと思うが、親は将来のことが心配となっている。近くに施設が必要である。</p>
以後の経過（随時）	
<p>11/17経過報告：設置予定の場所の地盤が弱いため、申請が通るかどうかが不透明である。ストップ状態である。賃貸物件が対象であるので、駅前あたりに良い場所がないだろうか。</p>	
<p>29/8/31事務局：障がいのある方が日常生活上の相談援助等を受けながら、地域で安心して共同生活ができるグループホームは重要と認識しています。設立についての窓口は県であるため、随時、設立に関する情報提供・相談等に乗っていきたいと考えます。</p>	

平成28年度 青谷地域振興会議

委員提案管理表

開催日等	平成28年8月19日 第4回青谷地域振興会議
提案委員	上田 洋子
提案内容	福祉サービスから「地域づくり」を考える
具体的な内容	<p>青谷地区保健センター付近一帯を福祉ゾーンとし、様々な福祉サービスが連携し、各専門職や地域住民との顔の見える関係を築いていければと思います。青谷地区保健センターの利活用、人材確保等の課題があります。</p> <p>また、青谷地域外の勤務者にとって青谷は働くだけの場ではなく、青谷地域の職域間の交流の場となることも必要です。20代、30代の方も多く勤務しており、職域間のスポーツ大会やしゃんしゃん祭り等へ参加ができればと思っています。また、職場体験やボランティアを通し、小学校・中学校・高校を通じた人材育成の充実が必要です。</p>
意見	<p>意見：各専門職同志の連携とは</p> <p>回答：青谷地域の福祉施設が連携し、出張講座や研修会を開催するなど、進めていきたいと考えている。</p> <p>意見：「青谷町版総合戦略は、福祉関係をもっと厚くしてもよい」「保健センターには利用制限があるようだが、トレーニングスペースにするなどのことを考えてほしい」</p>
以後の経過（随時）	
10月28日に医療・福祉等の連携についての話し合いが初めて開催された。次回地域振興会議で経過報告を依頼した。職域間交流に繋がる期待がある。	
11/17会議で経過報告：西部地域の高齢者介護、医者等の親睦会が開催された。関係者約20名が参加した。今後はいろんな提案を働きかけていきたい。また、今回の地震で施設のエレベーターが止まった。改めて、地域の協力が必要、顔の見える体制づくりが必要だと感じた。	
29/8/31事務局：医療・福祉等関係者の連携については、今年4月にも研修会が開催されており、今後も引き続き西包括支援センターとも連携しながら進めていきます。また、青谷町版総合戦略へは「認知症高齢者等を支える地域づくり」の項目を追加し、実施主体に関係機関との連携を記載します。	

平成28年度 青谷地域振興会議

委員提案管理表

開催日等	平成28年10月17日 第5回青谷地域振興会議
提案委員	長谷川英二
提案内容	因州和紙の産地としての書道教育の推進ほか
具体的な内容	先日、広島県熊野町で開催された和紙のイベント「第19回文房四宝まつり」に参加した。書道に必要なもの（筆・墨・硯・紙）の産地が集まる祭りである。2年に1回開催され、2年後は鳥取市が会場となる。熊野町では小学校1年生（通常は3年生）から書道の授業がある。筆の産地ならではの取り組みである。今年になってから、ようこそ書道コンクールや因州和紙書初め大会が中止され、組合員の力不足を感じているところであるが、このイベントに参加し、「書道っていいな」と改めて思った。鳥取も紙の産地として、書道教育を特別な策をもって動き出してほしいと思っている。
意見	意見：青谷高校と因州和紙を結び付け、青谷高校に入学すると字が上手くなる、書道を習うことができる、など地域の特性を活かしてはどうか。 意見：鳥取市も特化した取り組みが必要である。教育する先生が少ないかもしれないが、やり方だと思う。 意見：学校で授業に取り入れることを検討してほしい。 意見：熊野町のビデオを見て思ったが、学校だけではなく地域での取り組みも大事である。
以後の経過（随時）	
29/8.31事務局：青谷小学校でも3年生から、授業で習字があるが、中学校になると授業でも部活動でも書道に接する機会はなくなるようです。小学校及び中学校での授業化は教育指導要綱上、難しいと考えられます。 青谷高校においては、2、3年次に青谷学として特色ある取り組みを行われており、今後「青谷高等学校活性化を支援する会」を立ち上げますので、その中で議論ができるかなと考えます。 また、長谷川さんが会長をされている、にぎわい創出事業実行委員会の和紙部会での検討も可能と考えます。	

平成28年度 青谷地域振興会議
委員提案管理表

開催日等	平成28年11月17日 第6回青谷地域振興会議
提案委員	松岡 礼子
提案内容	図書館
具体的な内容	<p>青谷図書室について、たくさんの人に利用してほしい、子どもも大人も本に親しむ環境を作ろう、との思いで提案した。</p> <p>小学校の頃、毎日のように（旧）青谷中央公民館の図書室に行っていた。その後、図書室は青谷町総合支所内に設置され、36,000冊もの蔵書があり、音読教室等のイベントも開催しているが、利用者が減少しているようである。入口がわかりにくい等の課題があるが、見やすい看板の設置等による図書室の存在のPR、学習コーナーの増設、保育園小中学校との連携を密にする等、身近な存在にすることが必要である。利用者を増やしていくことが、長い長い人づくり、町づくりに繋がると思う。</p>
意見	<p>意見：みなさんに知ってもらい、たくさん利用してほしいと思う。（月・祝日以外）平日、土日も19時まで開館している。</p> <p>鳥取市の図書館とオンラインでつながっているので、市内の他図書館の本も借りることが出来るようである。</p> <p>意見：蔵書36,000冊と充実しているが、狭い。ゆったりとしたスペースが必要である。借りるだけで、その場で読むスペースがない。</p> <p>回答：元々、青谷町役場当時の町民ホールであったため、様々な制限があります。</p> <p>意見：移動図書館もあり、図書室の利用が減ったのかもしれない。</p>
以後の経過（随時）	<p>29/8/31事務局：入口看板につきましては、少し地味で目立たないかもしれませんが、よいご提案をいただければ検討したいと思います。</p>

平成28年度 青谷地域振興会議
委員提案管理表

開催日等	平成29年1月19日 第7回青谷地域振興会議
提案委員	津本 和美
提案内容	農業関係
具体的な内容	<p>現在、青谷地域には380haの田があり、200haが稲作、180haが米以外（耕作放棄地を含む）を作っている。農地維持・保全のため、まず日置谷地区で取り組み、今後は青谷地域全体に広がればよいと思っている。担い手が耕作しやすい環境づくりが必要である。</p>
意見	<p>事務局：広域化すれば、計画的に活用できる有利な制度です。受益者が少ないため実施が困難な農道補修等も取り組みやすくなると思います。</p> <p>意見：現在、河原集落では中山間直接支払制度を活用しているが、以前はこの多面的機能支払交付金制度を実施したが、高齢化等で引き継ぐ者がいない。この事業には取り組みにくい。</p> <p>回答：山根地区に基盤整備実施の話が持ち上がっている。耕作放棄地にならないような対策をとれば実施は可能である。また、以前ほど事務処理の手間は少なくなっている。</p>
<p>以後の経過（随時）</p> <p>29/8/31事務局：多面的機能支払交付金事業（農地、農業用施設維持、保全）の日置谷地区での広域化は、4月より日置谷地区他7組織（既存組織4組織、新規組織3組織）の広域組織が発足し、活動を行っています。現在は広域化ではないですが、県営事業に取り組み、山根地区、五本松地区等に多面的事業や中山間直接支払事業の推進を行っているところです。</p>	

平成29年度 青谷地域振興会議
委員提案管理表

開催日時等	平成29年5月24日 第2回青谷地域振興会議
提案委員	山本 剛
提案内容	「認知症を支える地域づくり事業を青谷町全域で ～認知症の人も そうでない人も みんなが安心して暮らせる〇〇に～」
具体的な内容	<p>小地域において取り組みたい事例や取り組みを進めるための鳥取市の支援・施策について提案がありました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症への不安や偏見防止のための啓発活動・情報発信、及び、市民への 到達度合の検証 2. 「がん検診」と同様、「認知症検診」の普及・制度化 3. 小地域における取組みを進めるための事業実施計画の策定
事務局回答	<p>鳥取市では、「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現」を目指し、国が進める認知症施策に重点的に取り組んでいる。鳥取西地域包括支援センター職員が行う出前講座や、認知症キャラバン・メイトが行う「認知症サポーター養成講座」により、認知症を正しく理解していただくための啓発活動を推進している。認知症の人や介護されているご家族や専門職が気軽に参加できる場所づくりとして、「認知症カフェ」の開催を支援している。今後も、鳥取西地域包括支援センターとも協議しながら普及啓発に努める。</p>
以後の経過（随時）	
7月26日開催の地域振興会議で進め方についての同意を得る	
【方針】	
「認知症を支える地域づくり事業を青谷町全域で ～認知症の人も そうでない人も みんなが安心して暮らせる〇〇に～」	
【進め方】	
<p>総合支所と担当課である鳥取西地域包括支援センターが連携して行う。</p> <p>認知症について地域で取り組むには、行政だけでは出来るものではなく、地域振興会議の委員さんをはじめ、地域のみなさんの協力も必要となる。今後、官民で力をあわせ、「認知症」を支える地域づくり事業を青谷町全体で推進する。</p>	
29/8/31事務局：9月上旬に、医療・福祉等関係者との話し合いを計画しており、今後の方向性について協議します。また、青谷町版総合戦略へは「認知症高齢者等を支える地域づくり」の項目を追加し、今後は関係機関と協議しながら実践に努めます。	

Ⅲ 誰もが活き活きと安心して暮らせる“まちづくり”

◆安心・安全なまちづくり

4. 認知症高齢者等を支える地域づくり

施策	内容	目標	実施主体
認知症の早期発見・早期診断につなげるための支援	健康教育等での啓発及び相談支援	全集落への啓発	地域・行政
認知症予防・ケアに関する意識啓発	地域における健康教育や会議等での啓発活動	全集落への啓発	地域・行政(西包括支援センターや社協、その他医療福祉関連団体との連携)

国史跡青谷上寺地遺跡の整備事業計画について

鳥取県埋蔵文化財センター

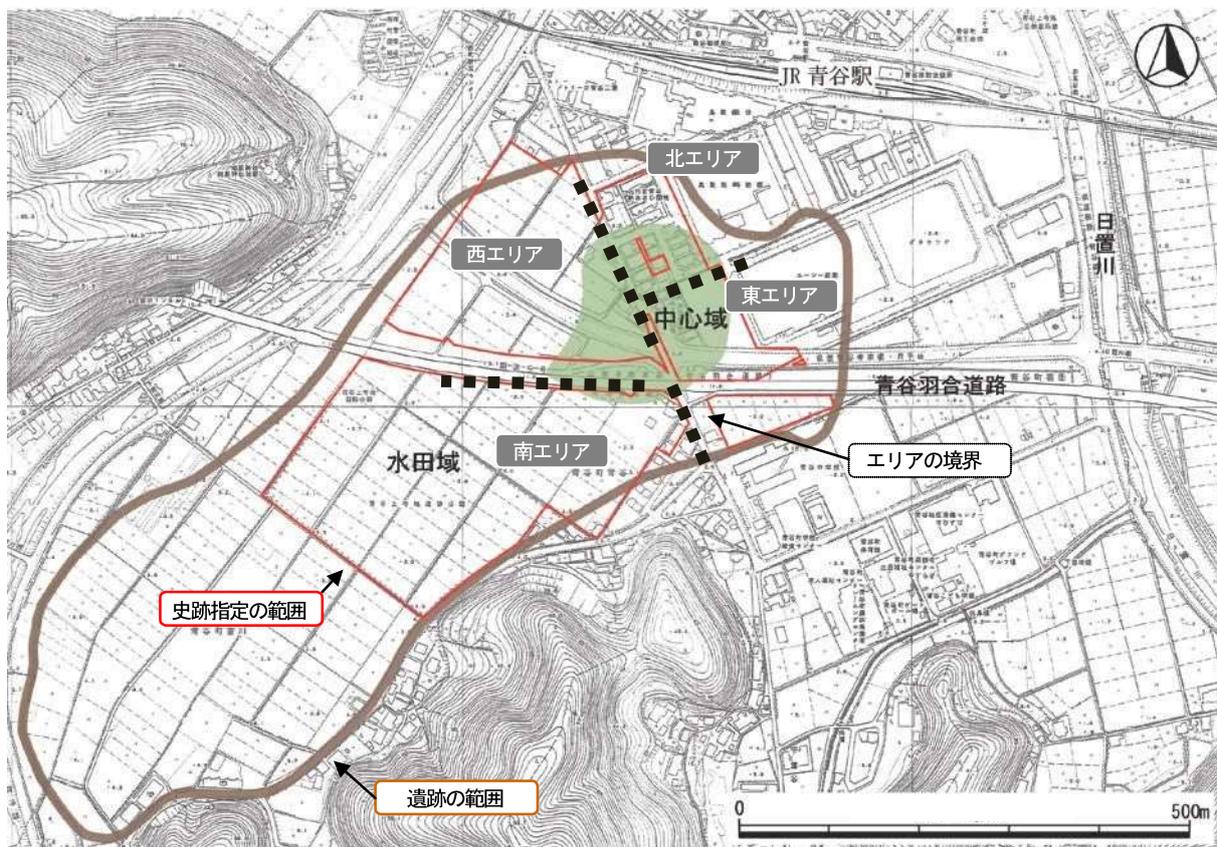
1 整備事業計画

年度	公有化	当初の計画	今後の計画	備考
H20	公有化			
H21		基本計画	基本計画	
H22				
H23		基本設計		
H24		実施設計		
H25		整備工事		
H26				
H27				発掘調査
H28		公開	基本計画 (詳細化)	AR作成
H29			基本設計	西エリア 北エリア
H30				南エリアなど 東エリア
H31以降				

2 基本計画の詳細化と基本設計にかかる作業スケジュール

平成28年度 基本計画の見直しと詳細化⑥ (H28年10月～H29年3月)	
現況把握	関連法規・計画、自然・社会条件、史跡に関わる課題、史跡の活用状況など
調査	設計条件の調査、類例調査 (同時代や類似環境にある史跡の整備・活用など)
整備方針検討	整備のイメージと方向性 (遺構保存、環境整備、復元整備、体験施設・空間、ガイダンス・展示施設、ソフト事業、地域連携など)
平成29年度 基本計画の見直しと詳細化⑥、基本設計案検討 (H29年4月～H30年3月)	
分析評価	設計条件の調査、類例調査 (同時代や類似環境にある史跡の整備・活用など)
活用方針検討	テーマ、キャッチフレーズ、ソフト事業、地域連携、むきばんだ史跡公園との連携、維持管理、運営イメージなど
基本設計案検討	遺構保存、環境整備、復元整備、体験施設・空間、ガイダンス・展示・便益施設、サイン・園路・導線、植栽、インフラ (電気、上下水道、排水) など
平成30年度 基本設計とりまとめ (H30年4月～10月) 報告書作成 (11月～H31年3月)	
基本設計作成	イメージ図、各種基本設計、概算事業費算定、事業計画 (年次計画・工程) など
報告書編集	基本計画最終確認

3 遺跡の範囲・史跡指定の範囲・エリア区分



南エリア→西エリア→東エリア→北エリアの順に整備工事を進め、段階的に公開・活用することを検討

4 整備のスタイル (案)

生活・技術体験型整備 ⇔ 景観体験型整備 (むきばんだ史跡公園)

・建物など、遺構の復元は最小限にとどめ、保存状態に優れた出土品を最大限に活かした青谷上寺地遺跡ならではの整備を目指す

更新(持続)型の整備・活用

・現在の生活(町や社会)と乖離した場所をつくるのではなく、地域の方々と一緒に史跡を活用しながら、整備を進める

5 整備の核となる施設や表示(案)

展示施設：青谷上寺地遺跡の大きな特徴である優れた出土品を展示、学習、活用

ガイダンス施設：生活・技術体験などの活動の舞台、地域の人々の交流の場

遺構展示施設：実物又はレプリカを用いた遺構の展示、学習の場

遺構表示：中心域および周辺を対象に弥生時代や古代の遺構を表示し、顕在化

屋外体験施設(低湿地環境、水路、水田など)：農業や自然を体験、学習する場

便益施設：駐車場、便所、水飲み場、足洗い場など

6 とっとり弥生の王国調査整備活用委員会 整備活用部会の開催計画(案)と検討内容

第1回(20170329開催) 整備活用基本計画の詳細化における論点を整理、検討

第2回(20170629開催) 現状把握、課題分析に基づき、活用や整備の方針や方向性を検討

第3回(20170927予定) 整備活用テーマ、保存管理・活用・整備計画(一部)の項目ごとの検討

第4回(201802下旬予定) 整備(一部)・維持管理・運営計画の項目ごとの検討

第5回(201807下旬予定) 基本計画(詳細版)の最終調整

基本計画(詳細版)の完成(201809下旬)

基本設計の完成(201903下旬)